

国立感染症研究所応用疫学研究センター 主任研究員／研究員 募集

- 【募集部署】 国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所応用疫学研究センター
応用疫学戦略部／応用疫学開発部
- 【勤務地】 国立健康危機管理研究機構
戸山本部キャンパス(東) 東京都新宿区戸山1-23-1
国立感染症研究所
<変更の範囲> 国立健康危機管理研究機構の事業場
- 【募集職種】 主任研究員又は研究員 (任期付常勤職員)
- 【採用人数】 若干名
- 【職務内容】 感染症その他の特定疾病の予防衛生に関する応用疫学研究センターにおける所掌事務のうち、応用疫学戦略部は、実地疫学調査及び研究並びに講習(応用疫学開発部の所掌に属するものを除く。)を行うことをつかさどり、応用疫学開発部は、食中毒及び医療関連感染に係る実地疫学調査及び研究並びに講習を行うことをつかさどる。
- 採用予定職については、本人の専門性、経験及び適性を踏まえ、選考過程又は採用後に所属部・室を決定した上で、以下1～4を共通、さらに該当する業務を行う。
1. 国内外の感染症情報・異常事象の収集・分析、リスク評価、発信に関する業務。
 2. 国内外の感染症及び集団発生事例に係る実地疫学調査、関係機関との連携及び対応支援に関する業務。
 3. 1. 2を網羅する公衆衛生対応、講習、人材育成に関する業務。
 4. 1. 2を網羅する実地疫学を中心とした感染症疫学研究。
 5. 実地疫学を用いた人材育成のあり方に関する調査、研究並びに講習に関する業務。
 6. 食中毒、人獣共通感染症及び医療関連感染に係る実地疫学調査、研究並びに講習に関する業務。
- <変更の範囲> 国立健康危機管理研究機構における研究等業務全般
- 【選考基準】
- [主任研究員]
1. 感染症疫学に関する十分な研究実績を有し、研究課題の企画、実施、成果発信を主体的に担う能力を有すること。実地疫学又は準ずる実務経験を有することが望ましい。
 2. 行政と連携した実地疫学や感染症・食中毒対策の実務経験を有すること。
 3. 国内外のサーベイランスに関する知識と経験を有すること。
 4. 他の室・部/センターや関係機関との連携を調整・推進する能力を有すること。
 5. 博士号取得後4年以上もしくは同等とみなされる程度の専門的な知識経験を有する博士号取得者。
- ※上記1から5を満たすこと
- [研究員]
1. 感染症疫学に関する基礎的な研究能力を有し、当該分野における研究活動を主体的に進める意欲を有すること。実地疫学又は準ずる実務経験を有することが望ましい。
 2. 行政と連携した実地疫学や感染症・食中毒対策の実務に関心を有して、経験を積む意欲があること。
 3. 国内外のサーベイランスに関して取り組む能力及び意欲を有すること。

4. 他の室・部/センターや関係機関との連携を取り組む能力及び意欲を有すること。

5. 博士号取得者。

※上記1から5を満たすこと

※なお、次のいずれかに該当する者は、応募できませんのでご了承ください。

①拘禁刑(禁錮)以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者

②当機構にて懲戒解雇の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

③日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

【採用予定日】 令和8年9月1日以降、原則1日付

【雇用期間】 5年(試用期間:採用日から6ヶ月間)

※契約の更新:無

【給 与】 [主任研究員]

<月例年俸額>432,000円/月 ※各種税控除前の金額

<業績年俸>年額1,739,000円を基準として業績や勤務成績等により変動
勤務開始日により 除算有

<他主要手当>地域手当(上記基本年俸の20%)、通勤手当

<定期昇給>なし

[研究員]

<基本給月額>346,000円/月 ※各種税控除前の金額

<業績手当>年2回(6月・12月)、状況等により変動有

<他主要手当>地域手当(上記基本給の20%)、通勤手当

<定期昇給>なし

【勤務形態】 9時00分から17時45分(休憩時間12時~13時)

休日:土日祝、年末年始 12/29~1/3

休暇:年次有給休暇、リフレッシュ休暇、特別休暇(忌引等)

※業務の都合により、超過勤務が生じる場合あり

※勤務開始時間の変更・フレックスタイム制の適用は相談可

【その他】 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入

※処遇詳細は、「職員就業規則」及び「職員給与規程」による。

【選考方法】 書類選考及び面接

※面接試験にかかる交通費等の支給なし

【応募書類】 ・履歴書(写真添付、別添様式例による、PCから連絡可能なメールアドレスを記載)

※学歴は高等学校卒業以降から記載

・学位記(写し)又は学位を証明するもの

・主要研究概要(1,200字以内)

・応募職の業務内容に関する抱負(1,000字以内)

・業績目録(A4版縦 横書き、別紙参照)

・論文別刷(1編以上)

・書類送付先又はメールアドレスに7月31日(金)12時必着で送付してください。

・下記募集部署を封書の場合は朱書き、メールの場合は件名にしてください。

『国立感染症研究所応用疫学研究センター主任研究員/研究員 応募』

※併せて希望職種を封書、又はメール本文等に記載してください。

・応募書類は採用審査の用途に限り使用し、返却いたしませんのでご了承ください。

・応募書類の提出に応じて締め切り前であっても随時、選考を行います。

・面接はオンラインにて実施することがあります。

【書類送付先】

〒162-8640

東京都新宿区戸山1-23-1

国立健康危機管理研究機構

国立感染症研究所総務部人事課 担当:宇田川

メール:koubo-niid@nih.go.jp

TEL:03-5285-1111 (内線)2025

年	月	学 歴・職 歴（各別にまとめて書く）
年	月	免 許・資 格

志望の動機、特技、好きな学科、アピールポイントなど

本人希望記入欄（特に給料・職種・勤務時間・勤務地・その他についての希望などがあれば記入）

業績目録

氏名 _____

1. 著書

2. 学術論文 (学会誌発表等)

(1) 欧文

(2) 邦文

3. 学会発表 (講演・発表等)

4. 外部資金 (研究費) 獲得状況 (研究代表者のみ、直近5年)

(記入上の注意事項 (共通))

1. 上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名 (発表雑誌名) の順で記載し、それぞれを改行すること。
2. 年代の新しいものから順に記載すること。
3. 発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。
(例: Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002)
4. 欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に () 書で和訳を記載すること。
5. 各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。(単独は (単)、筆頭は (筆)、その他は (他))
6. 著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。
7. 長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

8. 査読有りの論文については最低限、記載すること。

(参考例)

1. 著書

①機構太郎、感染太郎

(他炎症の組織病態

〇〇社, PP. 67-87, 1989)

2. 学術論文

(1) 欧文

①Taro Kansen, Jiro Kansen, Saburou Kansen, Tarou Kikou, Jiro Kikou, Saburou Kikou

(筆) An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in USA , 2002

(〇〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2002年アメリカ)

Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

(2) 邦文

①感染太郎、感染二郎、感染三郎、機構太郎、機構二郎、機構三郎

(筆) An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in Oosaka, JAPAN, 2004

(〇〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2004大阪)

Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

3. 学会発表

①感染太郎

(単) ラット皮下腫瘍の消長と〇〇〇の相互関係について

第25回日本病理学会総会, 東京, 1989

4. 外部資金(研究費)獲得状況(研究代表者のみ、直近5年)

①厚生労働省、〇〇(課題名)

期間: 令和〇〇年~令和△△年、金額〇〇〇円/年

②科学研究費補助金、(課題名) □□□□□

期間: 令和〇〇年~令和△△年、金額〇〇〇円/年